

当番世話人挨拶



晩秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年12月1日に第12回日本先進糖尿病治療研究会を岡山県倉敷市で開催させていただくことになりました。中四国においては初めての開催となります。一般演題はインクレチン関連、SMBG、CGM、CSII、ITを利用した地域連携などに関する19題のご応募をいただきました。またこのほか、基調講演、共催セミナー、特別講演、教育講演、ランチョンセミナーなどとともに新たに、CSIIの設定方法やCGMのトラブル対処について、わかりやすく解説し、気軽に相談できる会場も設けました。

12というのは干支や時計での一区切りに当たりますので、過去を振り返り新たなステージへ進みたいという思いからテーマを「温故知新」といたしました。それにふさわしく基調講演は当会の生みの親である久留米大学名誉教授の野中共平先生から当会の成り立ちとこれからの展望をお話いただく予定です。共催セミナーはこれからの糖尿病臨床と関連が深まると考えられる睡眠と生活習慣病について岩手医科大学医学部睡眠医療学科准教授の櫻井滋先生に、特別講演は日本における臍島移植の現状と未来について、第1人者である岡山大学大学院医歯薬学総合研究科消化器外科学教授の野口洋文先生にそれぞれ最先端のお話を頂きます。教育講演では新しいインスリンの話題を松久宗英先生に、1型糖尿病に対する免疫療法を島田朗先生に、ランチョンセミナーでは徳島大学名誉教授の島健二先生にHbA1cとグリコアルブミンについての温故知新をお聞かせ願えるものと思います。

また、今回専門的な発表だけでなく、CSIIをはじめたいという方々が初歩的なことから学ぶことができるように、別館にてCSIIカフェとして、CSIIやCGMのことを学びながら相談できる会場を用意しました。この会場には、低血糖体験の3Dや神経障害、網膜症を体験コーナーもあります。

会場は倉敷美観地区に隣接したところにあり、芸術と文化を感じることのできる環境です。美しい風景のなかで医師のみならず多くの方々とお会いできることを楽しみにしております。ぜひ有意義な1日にしていなければ幸いです。

清水 一紀

心臓病センター榎原病院 糖尿病内科

第12回日本先進糖尿病治療研究会当番世話人